

佐賀市調査内容報告

◆調査日時

令和7年7月11日（金）10時から12時 佐賀市役所にて

◆佐賀市の実施概要

【令和6年度：7月から3月まで】

9施設（うち公立1）、一般型事業で定期利用及び柔軟利用の実施。定員数16人。
対象者2,768人に対して登録者数429人（全体の約15%）、このうち利用者119人
利用時間総数2,171時間（2～3時間／回の利用が多い）
0歳、1歳の利用が多い。

【令和7年度】

令和6年度は一般型のみで事業を実施したが利用できる施設が少ないとの声あり。
→余裕活用型を取り入れることで、実施施設の増加を図った。
14施設（うち公立1）、定員数47人。8月以降も実施施設数は増加する予定。
対象者1,922人に対して登録者177人（7月現在）

【利用者の反応】

○良かった点

- ・リフレッシュして、子育てに前向きになれた
- ・育児の悩みを相談できた
- ・親と離れ、社会で生活することに慣れてきた
- ・他の子供と触れ合い、成長を感じる

○改善すべき点

- ・利用できる施設が少ない
- ・利用したくても予約の空きがなく利用できない
- ・施設の空き状況がわからない

【施設の反応】

- ・委託料が安く、赤字経営となっている
- ・事業の趣旨と異なる利用がほとんどである
- ・一時預かり事業との違いがわからない

【親子通園】

- ・実績はない。

【医療的ケア児等の受入】

・令和6年度の実績はない。令和7年度は利用を希望された利用者はあったが実績はない。訪問看護と連携して対応しているが、受入のハードルは高いと認識している。

【利用者負担金】

- ・国と同じ基準で300円。生活保護世帯は100%、市民税非課税世帯は80%の減免。

【研修について】

・実施していない。ただし、保育士不足が課題であるため、県に対して専門研修の実施を要望している。

【キャンセルポリシー等】

・当日のキャンセルの利用料は徴収していないが、施設に対する委託料の支払は、国の要綱と同じく行っている。